

安平町地域公共交通の現状と問題

上位・関連計画及び安平町の地域特性に加え、鉄道やバスの利用実態調査、地区別の意見交換会、住民アンケート等の結果から、その背景とともに4つに分類し、現状と問題を整理しました。

背景・考え方		現状・問題点	
地域特性	社会背景と	公共交通を取り巻く環境	公共交通に対する認知度が低い ⇒ 存在は知っていても詳細を知らないために活用できない
			2町合併による早来地区、追分地区を中心とする合併後の市街地形成 少子高齢化の進展に伴う公共交通利用者の減少と維持費用負担 人口減少に伴う少年団・部活動の合同化 新たな地域資源（道の駅）が立地予定 全国的な高齢者による運転の増加 公共交通に対する重要度が高く、満足度が低い
安平町の交通特性	町内の交通	既存路線の効果的な運行	せいこドーム利用者への無料送迎バスの運行 あつまバスによる循環線を行っているが利用者が少ない 利用者が少ない路線の存在 平成24年度まで運行していた町営無料循環バスの復活に対する根強いニーズ ⇒ 一方でハイヤーの撤退問題や公共交通としての位置付けの再認識
		デマンド交通の改善の必要性	デマンド交通による空白地域のない公共交通サービスの提供への取組み（町営無料循環バスの代替え） デマンドバスとJR等の他の交通手段との接続がない デマンドバスの土日の運行がない デマンドバス利用手続きの負担（予約や取り消し等） デマンドバスの既存の乗降場所や利用者が少ない便の見直し ハイヤー事業との棲み分けの配慮 待合拠点の位置付けがない
	町外との交通	近隣市町との接続性	安平町外へ買い物・通院、更には通勤・通学のためにJRやバス（地域間幹線系統）を利用する町民の存在 運転者自身の高齢化及び自動車による移動が困難となった場合のJRやバス（地域間幹線系統）の利用ニーズがある 南千歳への接続便が少ない JR北海道の運営方針の変化

安平町地域公共交通の課題とその解決に向けた方向性

「公共交通を取り巻く環境」、「既存路線の効果的な運行」、「デマンド交通の改善の必要性」「近隣市町との接続性」の4つのカテゴリーにて整理した問題・課題について、それぞれ解決へ向けた具体的な方向性をまとめました。

具体的な方向性	実現に向けた課題
時代背景を踏まえ、誰もが利用しやすい公共交通のあり方を構築	現状の公共交通に関するきめ細かい情報提供 新たな資源を結び、町民や町外の人々の往来や回遊と交流を促す交通体系の整備 投資効果を最大化し、町民の納得性の高い効果的な公共交通体系の構築 時代背景（少子化等）に即した交通体系の整理 全国的な高齢者による事故の増加への対応 ⇒ “私たちの公共交通” 意識の醸成 交通弱者に対する目的に合わせた適切な公共交通サービスの確保 町民の意見や生活行動に基づいた公共交通網の構築 公共交通利用促進に向けた取組み
公共交通のネットワークを強化し、移動利便性の向上を実現	目的外利用が出来ないせいこドームバスに対する、多目的利用への見直し 移動実態に合っていない運行ダイヤやルートが限られている循環線の見直しが必要 町内4地区の移動を支援する循環型交通体系の検討 既存交通事業者（JR、ハイヤー等）に配慮した網形成が必要
交通空白地域のない公共交通を維持し、町民交流の活性化を実現	町内全ての交通手段の中でのデマンドバスの位置付けの再検討 ⇒ 郊外部の交通支援の位置付けを意識 デマンドバスの予約方式における柔軟な対応 デマンドバスと他の交通手段との連携による移動支援 土曜日診療の移動手段の確保 滞留空間の創出による待合時間の有効利用 利用者の視点に立ったデマンドバス運行事業者への働きかけ
近隣市町へのアクセスを強化し、流動の活発化を実現	JR路線の維持・確保を補完する交通体系の整理 生活実態に対応した千歳・苫小牧等の近隣都市へのアクセス強化 高齢者への情報提供